

レビ記の結晶の学び(2)		
第16週 食べることの意義と、死を打ち破ること		
<p style="text-align: center;">標 語</p> <p>神に仕える願いを持っている人たちが知らなければならないことは、神が焼き尽くす火であって、燃やし活力を与えるということです。この火は、わたしたちの内側の活力、推進力、衝撃力となって、わたしたちの奉仕の真の原動力となるべきです。</p> <p style="text-align: center;">神は、わたしたちが食物としての彼を食べ、消化し、吸収することを願っています。それによって神はわたしたちの内なる存在の構成要素となり、わたしたちは神格においてではなく、命、性質、構成、表現において神となります。</p> <p style="text-align: center;">わたしたちは主イエスを、わたしたちの中で真のヨベルとして受け入れなければなりません。わたしたちは彼を持って、わたしたちの所有地としての神を持ち、罪とサタンの束縛から救い出されて、真の自由と安息を持つことができます。</p> <p style="text-align: center;">わたしたちは、手順を経た三一の神、彼が完全にご自身によってなした働き、彼の働きの結果(神の住まいと永遠の現れのためのキリストの拡大としての召会)の内在的な意義を理解する必要があります。</p>		<p>第1日</p> <p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>マルコ 14:22 彼らが食事をしていた時、イエスはパンを取り、それを祝福してさき、彼らに与えて言われた、「取りなさい。これはわたしの体である」。</p> <p>I コリント 10:17 一つパンであるからには、わたしたちは数が多くても一つからだなのです。それは、わたしたちがみなこの一つパンにあずかるからです。</p>
		<p>第2日</p> <p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>ヨハネ 6:51 わたしは天から下って来た生けるパンである。だれでもこのパンを食べるなら、永遠に生きる。わたしが与えるパンはわたしの肉であり、世の人の命のために与えるものである。</p> <p>57 生ける父がわたしを遣わされ、わたしが父のゆえに生きているように、わたしを食べる者も、わたしのゆえに生きる。</p>

仕事の合い間、家事の合い間、勉強の合い間等の時間を使って主の言葉を思い巡らしましょう！

そして献身を思い起こし宣告しましょう、「主よ、あなたを愛します。主よ、わたし自身をあなたにささげます！」

第3日	<p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>啓 2:7 耳のある者は、その霊が諸召会に言われることを聞くがよい。勝利を得る者には、神のパラダイスにある命の木から食べさせよう。</p> <p>3:20 見よ、わたしは戸口に立って、たたいている。だれでもわたしの声を聞いて戸を開くなら、わたしは彼の所に入って行き、彼と共に食事をし、彼はわたしと共に食事をするであろう。</p>	<p>第5日</p> <p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>ヨハネ 11:25 イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である。わたしの中へと信じる者は、たとえ死んでも生きる」。</p> <p>I コリント 15:22 なぜなら、アダムの中ですべての人が死んだように、キリストの中ですべての人が生かされるからです。</p>
第4日	<p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>レビ 11:31 すべての群がるもののうちで、これらはあなたがたに汚れたものである。これらのものが死んだとき、それに触れる者はみな、夕方まで汚れている。</p> <p>I コリント 15:26 死は最後の敵として滅ぼされま</p>	<p>第6日</p> <p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>Ⅱテモテ 1:10 ……わたしたちの救い主キリスト・イエス……は死を廃棄し、福音を通して命と不朽を現し出されました。</p> <p>ローマ 5:17 もし一人の違犯によって、死が一人を通して王として支配したなら、あふれるばかりの恵みとあふれるばかりの義の賜物を受ける者たちは、さらにいっそう一人の方、イエス・キリストを通して、命の中で王として支配します。</p>

レビ記の結晶の学び(2)		
第17週 らい病の清め		
<p style="text-align: center;">標語</p> <p>神に仕える願いを持っている人たちが知らなければならないことは、神が焼き尽くす火であって、燃やし活力を与えるということです。この火は、わたしたちの内側の活力、推進力、衝撃力となって、わたしたちの奉仕の真の原動力となるべきです。</p> <p style="text-align: center;">神は、わたしたちが食物としての彼を食べ、消化し、吸収することを願っています。それによって神はわたしたちの内なる存在の構成要素となり、わたしたちは神格においてではなく、命、性質、構成、表現において神となります。</p> <p style="text-align: center;">わたしたちは主イエスを、わたしたちの中で真のヨベルとして受け入れなければなりません。わたしたちは彼を持てば、わたしたちの所有地としての神を持ち、罪とサタンの束縛から救い出されて、真の自由と安息を持つことができます。</p> <p style="text-align: center;">わたしたちは、手順を経た三一の神、彼が完全にご自身によってなした働き、彼の働きの結果(神の住まいと永遠の現れのためのキリストの拡大としての召会)の内在的な意義を理解する必要があります。</p>		<p>第1日</p> <p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p>
		<p>第2日</p> <p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p>

仕事の合い間、家事の合い間、勉強の合い間等の時間を使って主の言葉を思い巡らしましょう！

そして献身を思い起こし宣告しましょう、「主よ、あなたを愛します。主よ、わたし自身をあなたにささげます！」

第3日	<p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p>	<p>レビ 14:6-7 生きている鳥については、それと香柏の木と緋色の燃り糸とヒソプとを取って来て、それらと生きている鳥を、流れ水の上で殺した鳥の血の中に浸さなければならない。祭司はそれを、らい病から清められるべき者の上に七たび振りかけて、その人を清いと宣告しなければならない。それからその生きている鳥を野原に放たなければならない。</p>	<p>第5日</p> <p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p>	<p>レビ 14:8-9 清められるべき者は、自分の服を洗い、すべての毛をそり落とし、水に浸って、清くならなければならない。その後、彼は営所に入ることができるが、七日間は自分の天幕の外に住まなければならない。七日目に、彼はすべての毛をそり落とさなければならない。頭も、髭も、まゆ毛も、すべての毛をそらなければならない。そして自分の服を洗って、自分の肉を水に浸さなければならない。そうすれば彼は清くなる。</p>
第4日	<p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p>	<p>ヘブル 9:14 まして、キリストが永遠の霊を通して、傷のないご自身を神にささげられたその血は、なおさらわたしたちの良心をきよめて、死んだわざから離れさせ、生ける神に仕えるようにさせないでしょうか？</p> <p>I ヨハネ 1:9 もし、わたしたちが自分の罪を告白するなら、神は信実で義であられるので、わたしたちの罪を赦し、すべての不義からわたしたちを清めてくださいます。</p>	<p>第6日</p> <p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p>	<p>レビ 14:36 祭司は、その患部をよく見に行く前に、その家を空にするように命じなければならない。……</p> <p>39-40 祭司は七日目にまた来て、それを調べなければならない。その患部が家の壁に広がっているなら、祭司は命じて、患部がある石を取り出し、それらを町の外の汚れた場所に投げ捨てさせなければならない。</p>

レビ記の結晶の学び(2)		
第18週 罪を覆う		
<p>標語</p> <p>神に仕える願いを持っている人たちが知らなければならないことは、神が焼き尽くす火であって、燃やし活力を与えるということです。この火は、わたしたちの内側の活力、推進力、衝撃力となって、わたしたちの奉仕の真の原動力となるべきです。</p> <p>神は、わたしたちが食物としての彼を食べ、消化し、吸収することを願っています。それによって神はわたしたちの内なる存在の構成要素となり、わたしたちは神格においてではなく、命、性質、構成、表現において神となります。</p> <p>わたしたちは主イエスを、わたしたちの中で真のヨベルとして受け入れなければなりません。わたしたちは彼を持って、わたしたちの所有地としての神を持ち、罪とサタンの束縛から救い出されて、真の自由と安息を持つことができます。</p> <p>わたしたちは、手順を経た三一の神、彼が完全にご自身によってなした働き、彼の働きの結果(神の住まいと永遠の現れのためのキリストの拡大としての召会)の内在的な意義を理解する必要があります。</p>		<p>第1日</p> <p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>ヘブル9:11-12 しかし、キリストがすでに来て、実現しているすばらしい事柄の大祭司となられ、手で造られたのではない、すなわち、この造られた世界に属するものではない、さらに大いなる、さらに完全な幕屋を通して、やぎや子牛の血を通してではなく、ご自身の血を通して、一度で永遠に至聖所へと入り、永遠の贖いを獲得されたのです。</p>
		<p>第2日</p> <p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>レビ16:14-15 彼は雄牛の血を取って、それを指で、罪を覆う蓋の上の、東の面に振りかけ、また罪を覆う蓋の前で、その血を指で七たび振りかけなければならない。次に、アロンは民のために、罪のためのささげ物のやぎをほふって、その血を幕の内側に持って行き、……それを罪を覆う蓋の上に、また罪を覆う蓋の前に振りかけなければならない。</p>

仕事の合い間、家事の合い間、勉強の合い間等の時間を使って主の言葉を思い巡らしましょう！

そして献身を思い起こし宣告しましょう、「主よ、あなたを愛します。主よ、わたし自身をあなたにささげます！」

第3日	<p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>啓20:10 そして彼らを欺いた悪魔は、火と硫黄の池の中へと投げ込まれた。そこには獣も偽預言者もいた。彼らは昼も夜も、永遠にわたって苦しめられるのである。</p> <p>Iヨハネ2:2 彼はわたしたちの罪のためのなだめの供え物です。しかも、わたしたちの罪のためだけではなく、またすべての世の人のためでもあります。</p>	<p>第5日</p> <p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>ヘブル4:16 ですから、わたしたちがあわれみを受け、また時機を得た助けとなる恵みを見いだすために、大胆に、恵みの御座に進み出ようではありませんか。</p> <p>9:28 キリストも、多くの人の罪を担うために、ただ一度ささげられましたが、彼を熱心に待ち望む者たちに、二度目に、罪とは関係なく現れて、救いを与えられるのです。</p>
第4日	<p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>Iヨハネ4:10 わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪のために、御子をなだめの供え物として遣わされました。ここに愛があるのです。</p> <p>ヘブル2:17 こういうわけで、彼はすべての事で、彼の兄弟たちのようにならなければなりません。それは、彼が神にかかわる事柄において、あわれみ深い、忠信な大祭司となって、民の罪のために、なだめをなすためです。</p>	<p>第6日</p> <p>午前 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>昼 <input type="checkbox"/></p> <p>午後 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>夜 <input type="checkbox"/><input type="checkbox"/></p> <p>ローマ3:24-25 無代価で、彼の恵みにより、キリスト・イエスにある贖いを通して、義とされるからです。神はこのキリスト・イエスを立てて、なだめの場所とされました。それは彼の血により、信仰を通してであって、彼の義を明らかに示すためです。すなわち、人が以前に犯した罪を、神は寛容をもって過ぎ越されましたが。</p>